

基本書体

- モトヤ明朝 2
永遠に伝えたい書体
- モトヤ明朝 3
永遠に伝えたい書体
- モトヤ明朝 4
永遠に伝えたい書体
- モトヤ明朝 5
永遠に伝えたい書体
- モトヤ明朝 6
永遠に伝えたい書体
- モトヤゴシック 3
永遠に伝えたい書体
- モトヤゴシック 4
永遠に伝えたい書体
- モトヤゴシック 5
永遠に伝えたい書体

- モトヤゴシック 6
永遠に伝えたい書体
- モトヤシーダ 1
永遠に伝えたい書体
- モトヤシーダ 2
永遠に伝えたい書体
- モトヤシーダ 3
永遠に伝えたい書体
- モトヤシーダ 4
永遠に伝えたい書体
- モトヤシーダ 5
永遠に伝えたい書体
- モトヤシーダ 6
永遠に伝えたい書体
- モトヤシーダ 7
永遠に伝えたい書体
- モトヤシーダ 8
永遠に伝えたい書体

- モトヤマルベリ 2
永遠に伝えたい書体
- モトヤマルベリ 3
永遠に伝えたい書体
- モトヤマルベリ 4
永遠に伝えたい書体
- モトヤマルベリ 5
永遠に伝えたい書体
- モトヤマルベリ 6
永遠に伝えたい書体
- モトヤマルベリ 7
永遠に伝えたい書体
- モトヤマルベリ 8
永遠に伝えたい書体
- モトヤ新聞明朝 2
永遠に伝えたい書体
- モトヤ新聞ゴシック 3
永遠に伝えたい書体

モトヤシーダ 7 30pt

仮名は書体の表情を変える

モトヤゴシック 3 16pt

「可読性」の良さは、読んだ時の心地よさをもたらすと同時に、目を疲れさせない効果も生みます。言い換えれば可読性のいい書体は、人にやさしい書体だと言えます。

モトヤ明朝 2 10pt

モトヤ書体の開発は 1950 年代から始まり現在に至っています。この間、モトヤ書体は、鉛活字、タイプ活字、写植用文字盤、デジタルフォント（ビットマップフォント・アウトラインフォント）と様々な組版手段に対応し、その製品形態を変えてきました。しかし永年にわたる書体開発の歴史の中で、変わらないものが、「可読性」と「文字の美しさ」の追求です。

・モトヤ新聞明朝 2 10pt ※扁平率 80%

モトヤ書体の開発は 1950 年代から始まり現在に至っています。この間、モトヤ書体は、鉛活字、タイプ活字、写植用文字盤、デジタルフォント（ビットマップフォント・アウトラインフォント）と様々な組版手段に対応し、その製品形態を変えてきました。しかし永年にわたる書体開発の歴史の中で、変わらないものが、「可読性」と「文字の美しさ」の追求です。

モトヤマルベリ 6 26pt
可読性の良さは人にやさしい
 モトヤシーダ 3 16pt
 漢字固有の造形を考えると、日本語書体は欧文のように空間を埋めていく書体ではなく、空間を生かしていく書体であるといえます。